

ヤクシマコブヒゲアツバ チョウ目ヤガ科

Zanclognatha yakushimalis Sugi

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

本県が国内分布の北限であり、孤立した生息地となっている。

形態

開張22~30mmである。前後翅全体が黒褐色を呈していて、斑紋は不明瞭だが鋸歯状の内、外横線ははっきりしている。

国内分布

暖地性の種で沖縄、屋久島、九州、四国には少なくない。しかし、本州では山口県、和歌山県、静岡県、石川県で採集されているにすぎない。

県内分布

平野部の原植生の照葉樹林が残っている加賀市鹿島の森が唯一の産地であり、本来の分布地からかけ離れている。

生態

幼虫は枯葉を食べることが知られている。本州では年2回発生するものと思われる。

生息地の条件

低地に照葉樹林が残存されていることが重要と思われる。

生存の危機

現在の生息地は3haときわめて狭い。県内のまとまりのある照葉樹林を有する社叢林は本種が生息している可能性が高いので、現状のまま環境を維持すべきである。(A)

特記事項

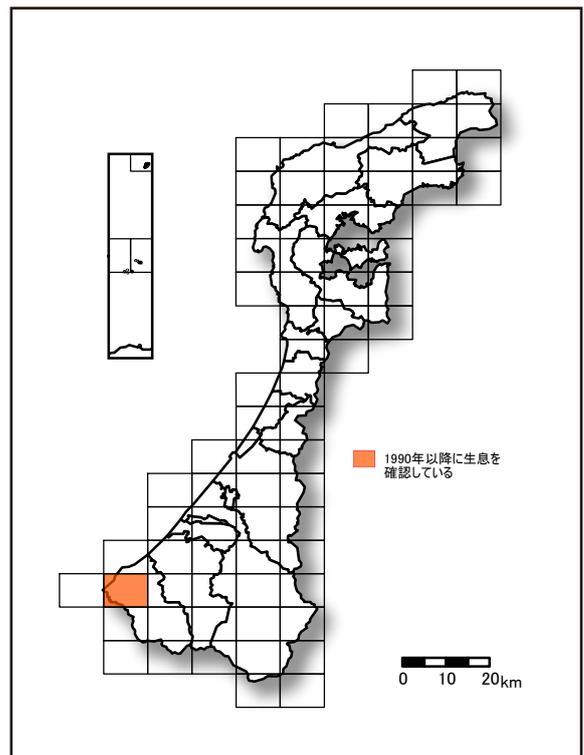
生息地の鹿島の森は、国指定の天然記念物に指定されている。

参考文献

富樫一次 1988. 鹿島の森の昆虫相. 金沢大学日本海域研究所報告, 20 : 49-80.



標本提供者: 富樫一次



県内の分布